

VI. ごみ処理施設

1. 処理場の経過

昭和38年2月地方自治法第284条に基づき一部事務組合(泉大津市和泉市清掃組合)を発足し、両市のごみ及びし尿の共同処理を行ってまいりましたが、昭和41年5月に隣接する高石市の加入に伴い、構成三市の広域的下水道処理を含めた一部事務組合「泉北環境整備施設組合」と改称しました。

平成16年4月には同組合の管理棟が完成し、事務局を現在の所在地へ移転させ、元の建物を現在の名称である「泉北クリーンセンター」に改称しました。

なお、平成28年3月には同組合の資源化センターにあたる「エコトピア泉北」が完成し、現在は構成三市のごみ処理及び再資源化を行っています。

2. 構成三市の人口及び面積(令和4年3月31日現在)

| 市名 | 人口 | 世帯数 | 面積 |
|------|----------|----------|------------------------|
| 泉大津市 | 73,466人 | 34,938戸 | 13.73k m ² |
| 和泉市 | 184,185人 | 80,900戸 | 84.98k m ² |
| 高石市 | 57,121人 | 26,126戸 | 11.35k m ² |
| 合計 | 314,772人 | 141,964戸 | 110.06k m ² |

3. 泉北環境整備施設組合事業所の施設名、住所及び連絡先

〒594-0001

泉北クリーンセンター：和泉市舞町87番地

TEL 0725-41-2030

FAX 0725-41-2115

〒594-0001

エコトピア泉北：和泉市舞町87番地

TEL 072-273-3331

FAX 072-273-3332

〒594-1154

最終処分場：和泉市松尾寺町1876番地

TEL 0725-54-2474

〒592-0013

事務局：高石市取石6丁目9番40号

TEL 0725-46-0150

FAX 0725-46-0800

4. 処理施設の概要

| 区分 | ごみ焼却施設 | | 粗大ごみ 処理施設 | ごみ 焼却施設 | 資源化 センター エコトピア泉北 |
|---------------|---|----------|--|--|---|
| | 1号炉 | 2号炉 | | 5号炉 | |
| 都市計画 面積 | 42,407.38 m ² | | | | |
| 延床面積 | 25,967.08 m ² | | | 8,897.39 m ² | 3,182.13 m ² |
| 工事 | 着工 | 平成11年8月 | | 昭和63年6月 | 平成26年10月 |
| | 竣工 | 平成15年3月 | | 平成3年3月 | 平成28年3月 |
| 処理方法 | 全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式) | | 併用設備 (備考) | 全連続燃焼式炉 | 磁選機付 手選別 |
| 処理能力 | 150t/24h | 150t/24h | 40t/5h | 150t/24h | 25t/5h |
| 建設費 (千円) | 20,370,000 | | 1,890,000 | 4,300,000 | 1,339,148 |
| 設計 ・ 施工 | (株)タクマ | | | | 設計 (株)環境技術研究所 建築施工 (株)福田組 機材施工 極東開発工業(株) |
| 備考 | ※排ガス処理設備 2段バグフィルター×2基 (1段)51,000 m ³ /h ろ布414本 (2段)54,000 m ³ /h ろ布546本 ※発電設備 出力 9,300kw 単気筒横置多段衝動式タービン ※余熱利用設備 循環水温 45t/h(お燻 ^ろ ー ^ル) ※集合煙突(1・2・5号炉) 高さ 89m ※ごみピット容量 8,333 m ³ ※緑地緩衝帯 7,263.79 m ² | | ※不燃粗大ごみ処理設備 高速衝撃剪断回転式 22 t / 5 h ※可燃粗大ごみ処理設備 低速2軸回転式 18 t / 5 h | ※排ガス処理設備 電気集塵機→ 湿式戦場装置→ バグフィルター装置 ※ごみピット 容量 4,600 m ³ 平成25年から運転休止 | 処理能力 25 t / 5 h 缶/ビンライン 17 t / 5 h プラ容器ライン 8 t / 5 h |

5. 最終処分場

| 名称 | 敷地面積 | 処理方法 | 処理能力 | 設計・施工・工事 |
|---------------|-----------------------|--------|------------------------|---|
| 松尾寺山 最終処分場 | 48,471 m ² | 準好気性埋立 | 410,430 m ³ | 設計：日本環境工学設計事務所 施工：前田建設工業(株) 工事着工：平成3年12月 工事竣工：平成5年3月 |